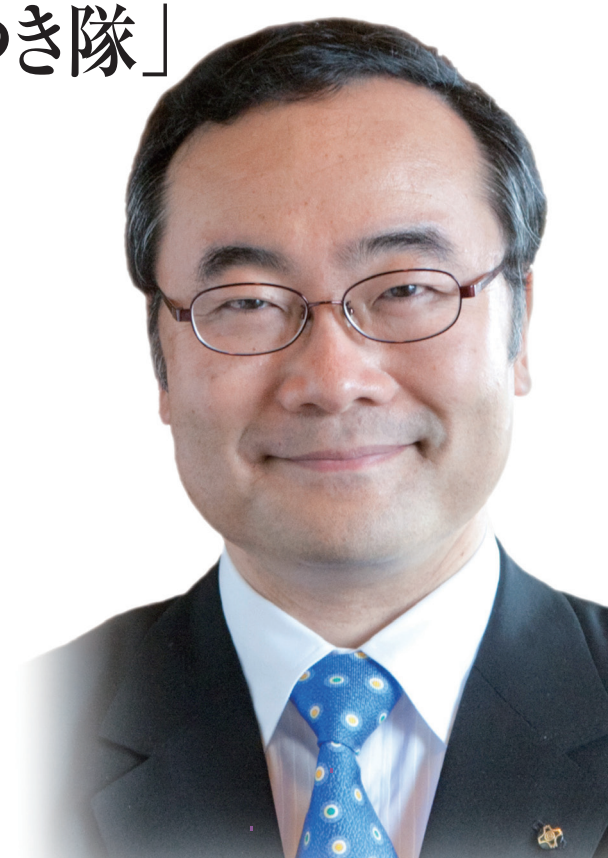


発行所 社団法人 全国ベビーシッター協会
〒160-0017 東京都新宿区左門町6-17 YSKビル7F
TEL:03-5363-7455 FAX:03-5363-7456
URL:http://www.babysitter.or.jp/
発行人 網野武博
編集 広報啓発委員会
発行年月日 2011年(平成23年)11月
会員交流事業・広報啓発事業・調査研究事業・研修事業・資格認定制度事業等、これらの事業を通してベビーシッターは21世紀に貢献しています。

厚生労働省認可 社団法人 全国ベビーシッター協会
All-japan Babysitter Association.

近県へ拡がる子育て支援「Go!Go!くっつき隊」

知事対談シリーズ 25 (社)全国ベビーシッター協会名誉会長 巷野悟郎の



10月4日、飯泉嘉門 徳島県知事を当協会名誉会長 巷野悟郎が訪問いたしました。温かい笑顔と的確で迅速な行政対応で、「阿波おどり」のように全員参加型の楽しい子育てを推進している飯泉知事との対談は、秋にふさわしい実りあるものでした。

徳島県 飯泉 嘉門 知事

昭和35年7月生。東京大学法学部卒業後、昭和59年に旧自治省入省。旧郵政省、総務省で様々なポストを歴任し、平成15年5月に徳島県知事就任。趣味は柔道、弓道、ピアノ演奏。好きな言葉は「一期一会」。

時代ニーズに応じたすばやい行政対応
会長：ここ数年少子化になかなか歯止めがかりませんが徳島県ではいかがですか？
知事：徳島の平成16年の合計特殊出生率は日本一の下げ率で、少子化に対する危機感が高まり、早急な対策が求められていました。若い人たちが企業担当者としてシニアを設けたところ、①出会いの場が無いことによる未婚化、②女性の社会進出の進行による晩婚化、③非正規職員の増加等による経済的不安など、問題点が浮き彫りになりました。そこで、まず出会いの場を広げるために、Y A H O O と共同で様々なイベントを行いました。若い人たちはほとんどインターネットから情報収集するので、その組織を利用することにしました。



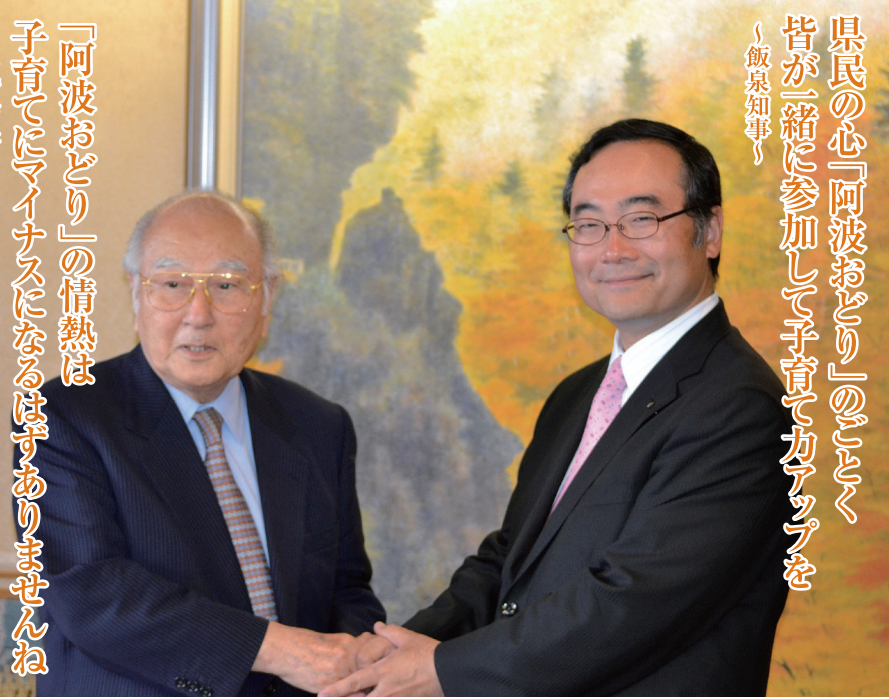
出生率、最下位から全国1位へ！
知事：経済的安定をはかるための働く場所づくりとして、コールセンターや、データセンター、ビジネスセンターなどを誘致して、約1000名の雇用も創出してきました。経済的不安定な社会状況下で、徳島県は倒産数が全国で最も少ないのです。そのおかげでしょうか平成22年の出生率は、全国平均を1ポイント上回り、これも全国1位になりました。
会長：しっかりと、実績を上げていらっやいますね。
知事：「小学1年生になったらお金がかかるといって県民の意見を参考に、平成

社会構造の変化への対応
会長：核家族化や一人っ子が増えたことで、子育ての仕方が分からない親が増えています。当協会は研修の充実に向けており、大学等の保育士養成校で家庭での子育て支援をカリキュラムに導入し、卒業生に認定ベビーシッター資格を付与する指定校制度を設けました。一般向けには新任研修・現任1研修修了を



この方 巷野 悟郎 名誉会長
東京大学医学部卒業 小児科医
都立駒込病院副院長、都立府中病院院長、東京家政大学教授、聖徳大学児童学科教授を経て現在
社団法人全国ベビーシッター協会名誉会長
社団法人母子保健推進会議会長
(主な著書)
「赤ちゃんが書かせてくれた～小児科医からママへの手紙」(赤ちゃんとママ社)
「保健保育の基礎知識」(編著/小児医事出版社) など多数

21年からは医療費無料の年齢を3年生までに引き上げました。
会長：出会いがあり、経済的に安定し、働き続けられる環境があつて、家庭への経済支援がある。子育て環境を行政主導で整備されていますね。
会長：最近では保育園に長時間預ける人が多く、子育てが家庭から離れているような気がします。家庭への子育て支援について、どのような取り組みをされていますか。
知事：産官学民協働で取り組んでいます。「おぎやと21」というイベントでは、医療・保健関係者による健康相談、保育科の学生ボランティアによる遊びのコーナー、子育て支援機関や行政からの子育て支援情報の提供、民間団体による保護者や子どもがリフレッシュできるコーナー等、親子で楽しみながら、子育てに関するさまざまな情報が得られる次世代育成支援イベントを開催しました。また、「Go!Go!くっつき隊」というパスポートを子育て世帯に配布して、協賛店舗や企業などで提示すると、割引やプレゼントなどの優待サービスが受けられるようにしました。このパスポートシステムを知事会で提案したところ、四国4県の他、今では近畿圏でも合同で実施しています。
会長：子育て世代にとって、お得でうれしい取り組みですね。
知事：社会全体で子育てを行う仕組みづくりをすることが、行政の役割だと思っています。最近、自治会の取り組みが不活発だと聞きますが、自主防災組織に変更したところ、住民の参加率が上がりました。お年寄りも子育て世代も一緒に出会う場・集まる機会が増えることで、会話が生まれ地域社会が広がっています。出てきてもらおう」の目的なく、「出てきてもらおう」のための取り組みです。



「阿波おどり」の情熱は子育てにマイナスになるはずありませんね
～名誉会長～
県民の心「阿波おどりの」のどろどろ皆が一緒に参加して子育てがカギアップを
～飯泉知事～